

# 筑豊小児科医会会報

Vol.235 2026.8



## Contents

- ◇ トピックス
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2026年5月》
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）  
（代表）TEL：0948-22-3800

## トピックス

---

### 小児センター主任 吉村 麻紀子

平素より当センターの診療にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

当センターは、一般小児科・小児外科の他、専門外来としてアレルギー、新生児外来、応援医師による循環器、内分泌、神経発達、腎臓内科など専門診療もおこなっています。

看護師 6 名、医療事務 4 名のスタッフが在籍し、昨年度より医療ネットワーク事業虐待拠点病院として、看護師 1 名が虐待専門コーディネーターの活動を始めており、子どもたちが安心して地域で生活できるよう関係機関と連携しながら、情報共有や支援体制の構築に努めています。

近年は医療的ケアを必要とするお子さんの受診も増えており、地域全体で切れ目のない支援体制を構築することが重要となっています。その一環として、医療的ケア児にお渡しする物品について、他医療機関との標準化・統一化を進めています。運用変更に伴い、ご家族や関係機関の皆さまにご不便をおかけする場面もあるかもしれませんが、安全で質の高い医療の提供ため、ご理解をいただけますと幸いです。

私たちが大切にしているのは、「子どもと家族に寄り添う小児看護」です。病気だけでなく、子どもの成長・発達や家族の思いにも目を向け、一人ひとりに合わせた支援を心がけています。これからも安心して診療を受けられる環境づくりを行い、ご家族の思いにも耳を傾けながら、子どもたちとご家族に寄り添った温かい医療・看護を提供してまいります。

#### ★小児センタースタッフ集合写真★



## 研修医のご紹介

---

### ●初期研修医 2 年目 にしむら 西村 としのり 俊慶

初期研修医 2 年目西村俊慶と申します。昨年 4 月に小児科で研修し、今回 NICU で 6 週間研修させていただきます。

日々多くのことを学び吸収できるよう精進したいと考えております。短い間ですがよろしくお願いいたします。

## 飯塚病院 月間診療のまとめ 《2026 年 5 月》

●入院患者数 106人 ●外来患者数 855人 ●救命救急センター受診者数 64人

●新生児センター入院患者数 9人 ●分娩件数 25件 ●手術件数 5件

●主要疾患数（退院患者数：92人）

|               |    |          |    |              |   |
|---------------|----|----------|----|--------------|---|
| 肺炎・気管支炎       | 17 | 痙攣及びてんかん | 11 | 急性胃腸炎        | 5 |
| 低出生体重児        | 5  | 腸重積・腸閉塞  | 2  | 高ビリルビン血症及び黄疸 | 2 |
| 新生児呼吸障害・心血管障害 | 1  | その他      | 49 |              |   |

●紹介件数（五十音順）

| 小児科：84 件      |   | 小児外科：30 件         |   |
|---------------|---|-------------------|---|
| ひこばえ子どもクリニック  | 8 | 飯塚市役所 こども家庭課      | 5 |
| 飯塚市役所 こども家庭課  | 6 | ささきこどもクリニック       | 3 |
| いいづかこども診療所    | 4 | ひこばえ子どもクリニック      |   |
| 額田病院          |   | 雪竹医院              |   |
| くわの内科・小児科医院   | 3 | あざかみこどもクリニック      | 2 |
| こどもクリニックもりた   |   | 有松産科婦人科ユースクリニック   |   |
| 坂本医院          |   | 田代医院              |   |
| 平野医院          |   | あらきこどもファミリークリニック  | 1 |
| 松尾ファミリークリニック  |   | 尾上小児科医院           |   |
| 宮嶋医院          |   | 嘉麻赤十字病院           |   |
| やまのファミリークリニック |   | 香春町役場             |   |
| 吉國医院          |   | くわの内科・小児科医院 他 5 件 |   |

## 小児科関連勉強会のご案内

### ■令和 8 年度 筑豊地域小児在宅医療定例研修会

●日 時：2026 年 8 月 20 日（木）18:30～20:00

●会 場：のがみプレジデントホテル

\* 詳細は案内状をご確認ください

### ■第 376 回 筑豊小児科医会勉強会

●日 程：2026 年 9 月 16 日（水）



先月、和歌山市で2歳の長女・流菜ちゃんを虐待死させた両親に、和歌山地裁がそれぞれ拘禁刑8年の判決を言い渡しました。

両親による虐待は、流菜ちゃんが1歳半の2024年9月頃から始まりました。御飯の時にぐずったり、外出先でわがままを言ったりしたことをきっかけに日常的に暴力を振るうようになり、外出時には長男だけを連れて長女を自宅に置き去りにするなど、きょうだいで明確に差別をしていたそうです。死亡時の体重は約6キロ、2歳児の平均の半分程度でした。顎を骨折させ、食事が摂れない状態になっても治療を受けさせず、2025年7月10日に流菜ちゃんは亡くなりました。裁判長は「両親を頼るしかない状況で暴行を受け続け、短い生涯を終えることになった長女の絶望感は察するにあまりある」と述べました。

裁判で母親は「長女をかわいいと思えないことに悩んでいた」と述べ、産後うつのような状態にあったとされています。どんな状態であっても虐待は許される行為ではありませんが、医療や福祉に携わる私たちが流菜ちゃんの親子に乳幼児健診の場面で出会っていたとしたら、気付くことができたでしょうか。

マルトリートメント（不適切な養育）を受けている流菜ちゃんのような乳幼児には、身体的・精神的な特徴があります。例えば体格。低身長や体重増加不良は気付きやすい特徴ですが、頭囲や身長に比べて体重が軽い子は食事が少ないことが推測されます（食が細い子の特徴でもあります）。これは、身体の成長は頭囲、身長、体重の順番に優先されるためです。

精神的には、愛着形成が不安定な子どもは情緒が不安定で落ち着きがないと言われています。成長過程の子どもは、何が起きるか分からない病院などの公的な場所では不安になりがちです。安心できる安全基地の養育者が一緒にいれば安定を取り戻しますが、そうでないと些細なことで大泣きしたり、かんしゃくを起こしたりします。今、医療・福祉・保育の現場では、こうした不安定な乳幼児を発達の問題（発達障害）として捉えがちです。そして、そんな我が子の様子に困惑し、かわいいと思えなくなっているかもしれないお母さんに、私たちは「発達に問題があるかもしれない」と伝えているのです。

私が小児科医になって30年弱の間、小児科医は子どもたちの問題行動のベースには「発達障害」があり、早期発見・早期対策が必要だと声高に叫んできました。その結果、子どもの行動の問題を子ども自身の特性として捉える見方が広まりすぎてしまいました。しかし、子どもの行動は環境を映す鏡です。子ども一人だけの課題ということはないのです。

私たちのそばにも、流菜ちゃんと似たような環境に置かれている子どもたちがいます。気になる子どもに出会った時、まずはご自身を穏やかな気分に保ち、子どもやお母さんの話を聴いてみてください。

気になることがあれば、AI-CAPにご連絡ください。

文責：AI-CAP 大矢 崇志

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

## Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

---

昨日まで降り続いた雨がやみ、いきなり蝉が鳴き始めたと思っ…夏です。この原稿を書こうと入った夏休みのマクドナルドは日焼けした中学生や高校生でいっぱい。むやみやたらと楽しそう。たんと遊べよ。さて、そうは言ったもののこの暑さの中、子どもたちは何をして遊べばいいのでしょうか。おもちゃ？

そう、『トイ・ストーリー 5』を観ました。シリーズを通しておもちゃとしてのアイデンティティを描き、"大切な人"との別れを描いてきたトイ・ストーリーですが、今回彼らの前に現れたのはリリーパッドというおもちゃのタブレットデバイス。友達のいない少女ボニーに代わり、グループチャットを駆使し、チャットゲームで遊ばせ、遊ぶ約束を結ぶリリー。しかし、一緒に遊ぼうと持って行ったおもちゃをバカにされたボニーは、次第におもちゃたちには目もくれず、タブレットにのめり込んでしまいます。画面をタップするばかりで目に見えない友達と遊ぶボニーに戸惑うカウガール人形のジェシーは彼女を振り向かせることができるのか・・・「子どもとメディア」という小児科医にも刺さる現代的なテーマの作品でした。作中、ブルーライトに照らされた子どもたちが印象的に描かれますが、それと同じように彼らの親もみな暇さえあればタブレットを扱い、パソコンに向かって仕事をしています。デバイスにのめり込んでいるのは子どもだけではありませんでした。

子育てをする上で、子どものメディアとの付き合い方が話題に上ることが多々ありますが、一つ手前の大人たちのメディアとの付き合い方はどうでしょう。我が子がさまざまな探索行動に出かけ、喜びや悲しみ、寂しさを経験して親のもとに帰ってきた時、大人たちがスマホに夢中で適切な反応を返すことができないとしたら、子どもたちはどうするでしょう。反応してくれない親の気を引くため、大きな声を出したり、やんちゃをしたり、泣いたりわめいたり。それらが繰り返されると、やがて子どもたちは親たちを困らせることばかりするようになってしまいます。ジェシーやバズ、ウディたちがボニーを振り向かせようと奮闘する姿は、安全基地を求める子どもたちの姿そのもののかもしれません。ボニーは彼らに振り向いてくれるのか、ぜひ映画館でお確かめください。泣けます。

---

### \*お知らせ\*

Pediatrics Note は note にも載せています

